

「担い手育成センター」の整備に関する提言

提言先 農林水産省

政策提言の要旨

持続的で力強い農業を実現するためには、新規就農者の確保、育成をこれまで以上に強化することが必要です。併せて、先進技術を習得した農業者や先進技術指導者の育成も必要となります。

そのため、新規就農者や先進技術の習得に意欲のある農業者、先進技術指導者を育成する農業者研修施設の整備に必要な予算の確保を提言します。

【政策提言の理由】

- 1 国の「日本再興戦略」では、現在の年間1万人の新規就農者を2万人にすることが掲げられています。

高知県においても、JA生産部会員を対象とした営農意向調査の結果から今後10年間に生産者が16%減少すると推計されており、更なる新規就農者の確保、育成が必要であることが明らかになりました。しかし、新規就農者を受け入れる市町村や農業者からは、農業の基礎的な技術力の向上が求められており、一方、新規就農者からは、就農に必要な農地や住居の確保が求められています。

そのため、農業者研修施設に新たに宿泊施設や研修用ハウスなどの整備を行い、研修生の受入枠の拡大を図るとともに、技術力や経営力を高めるための研修カリキュラムの見直し、スムーズな就農に向けた農地や住居などの確保のための産地とのマッチング機能の強化などが必要です。

- 2 農業を維持、発展させるためには、新規就農者の確保、育成と併せて、現在農業に携わっている農業者が先進的な技術を学び、高品質、多収量を実現することにより、所得向上につなげることが必要です。

そのため、農業者研修施設にハウス内の炭酸ガス濃度や温度、湿度などをコントロールする統合環境制御技術などの先進技術を実証展示する施設を整備し、意欲ある農業者やJAの営農指導員などが、この施設で先進技術を学び、その技術の普及の加速化を図ることが必要です。